

横浜市インフルエンザ流行情報 19号

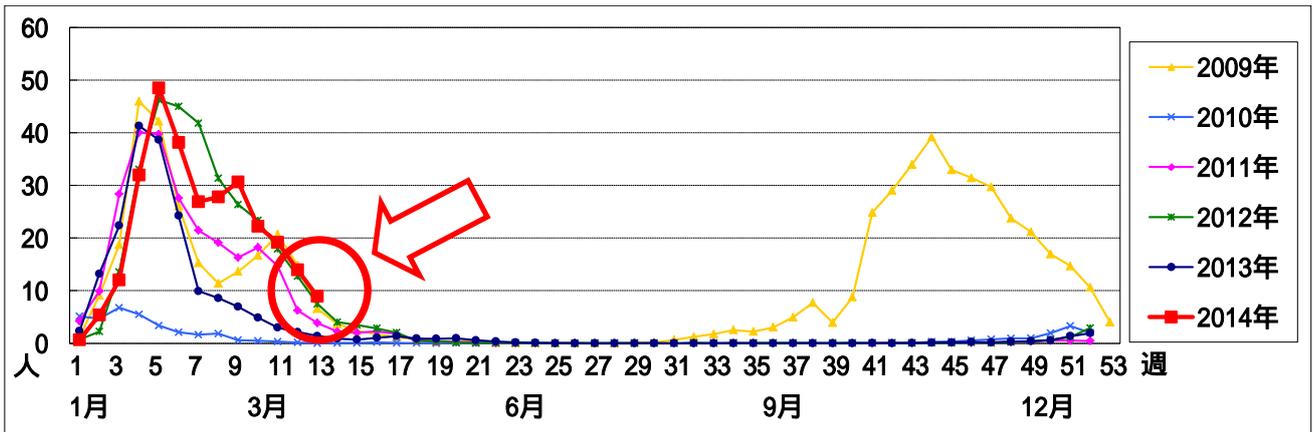
横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

《トピックス》

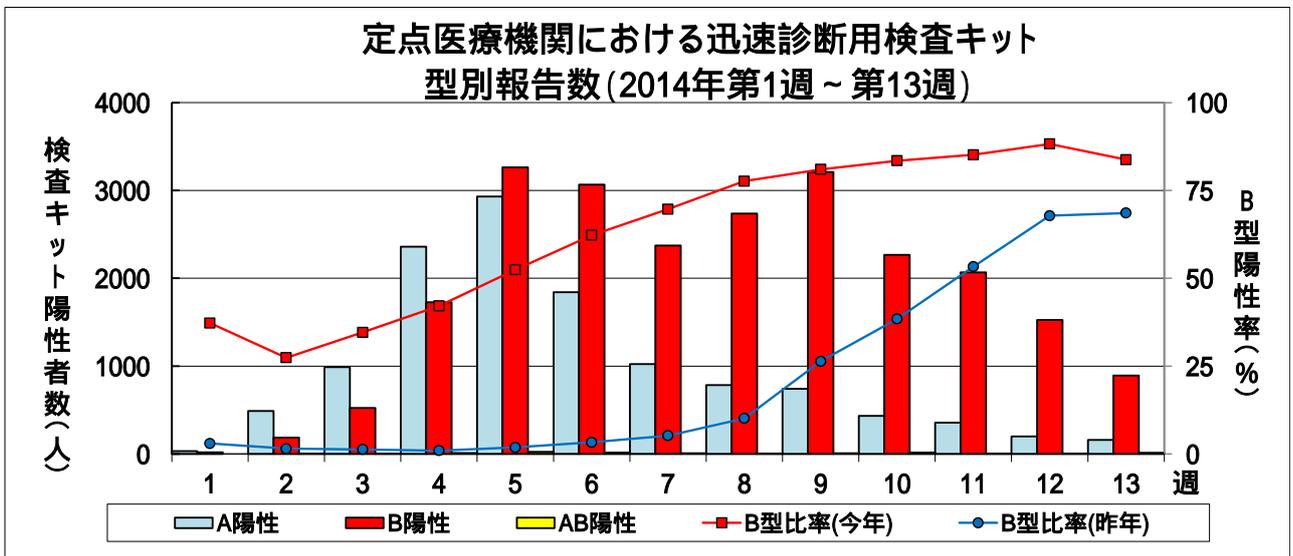
- **市全体では流行警報解除基準値(定点¹あたり10.00)を下回りましたが、依然として9区で上回っており、引き続き注意が必要です。**
- **感染予防や早期受診などの対策²が重要です。**

1 定点・定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内152か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。
 2 インフルエンザ予防チラシ(横浜市)

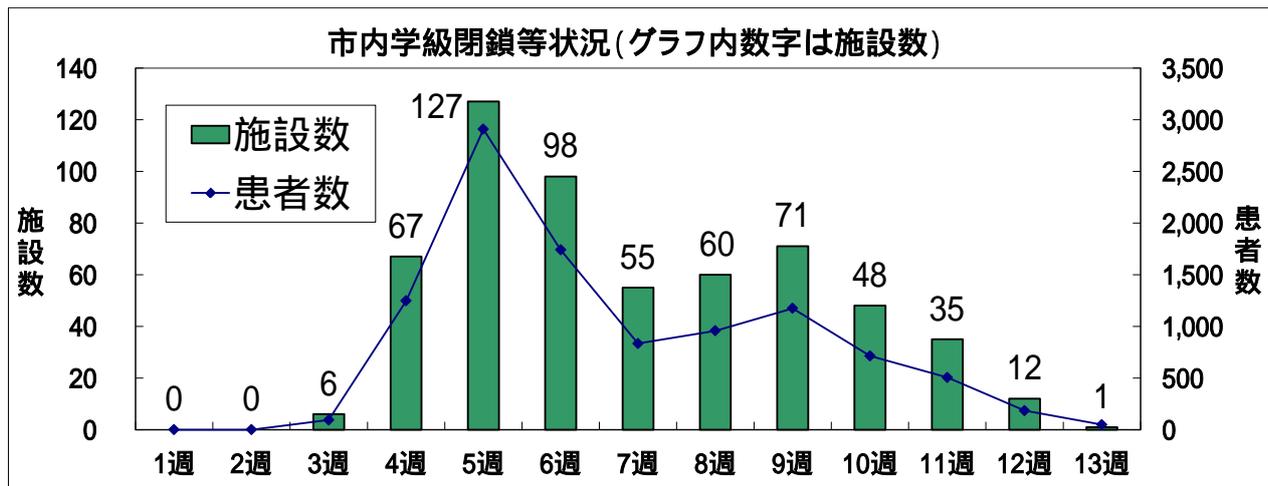
1 **市内流行状況:** 市全体の定点あたりの患者報告数は、第13週(3月24日~30日) **8.92** と4週連続で減少し、流行警報の解除基準値を下回りました。しかし9区で流行警報解除基準値を上回っており、もうしばらく流行に対する注意が必要です。



2 **迅速キット結果:** 第13週はA型15.0%、B型83.8%、A型B型ともに陽性1.2%でした。**昨年同**期との比較では、**B型の割合が多くなっています。**

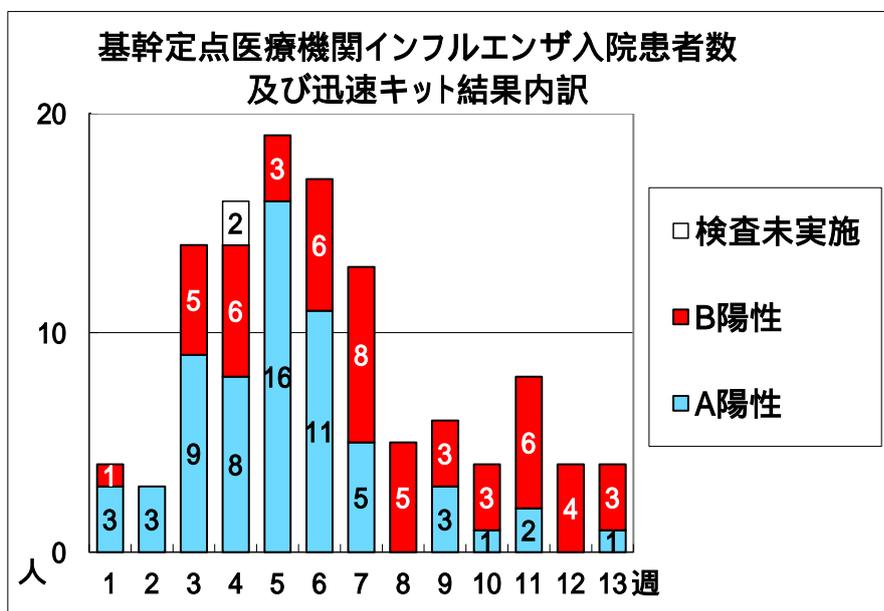


3 市内学級閉鎖等状況: 第9週以降減少が続いています。第13週は小学校1件のみとなり、患者数も50人を下回りました。

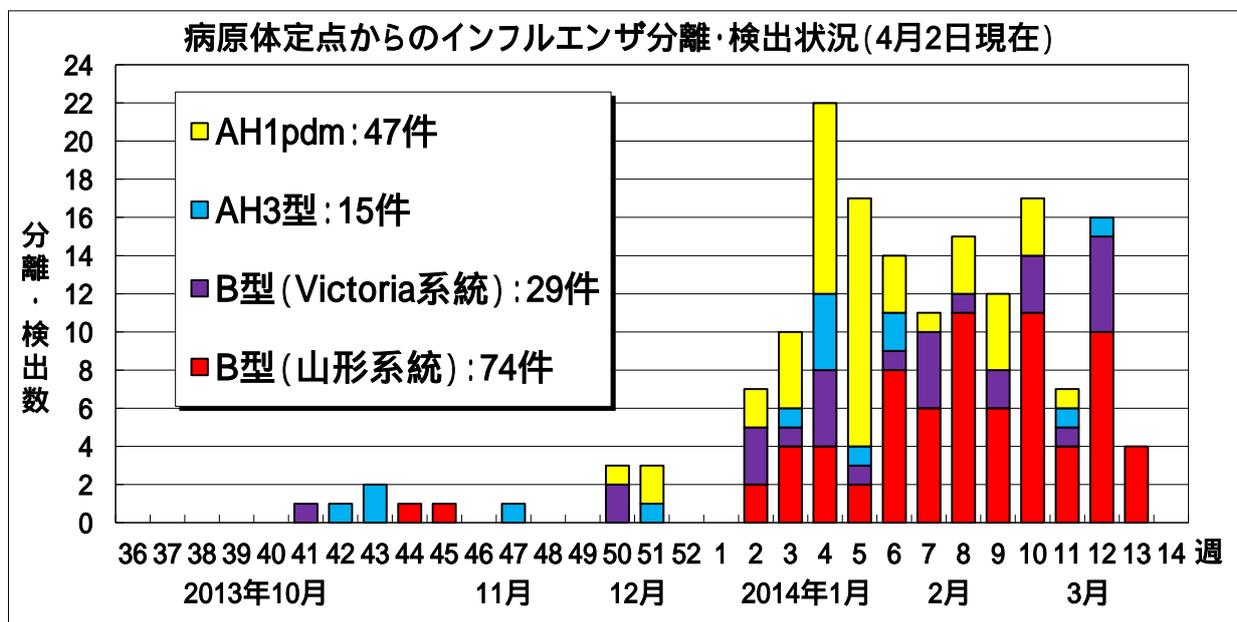


4 入院サーベイランス: 基幹定点医療機関³における、第13週のインフルエンザ入院患者数は4人で、8週以降報告数に大きな変動はありません。迅速キットの結果は、A型1件、B型3件でした。

3 基幹定点: 患者が300人以上入院できる病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)の中から、地域ごとに指定された医療機関のことで、市内には4つの基幹定点があります。



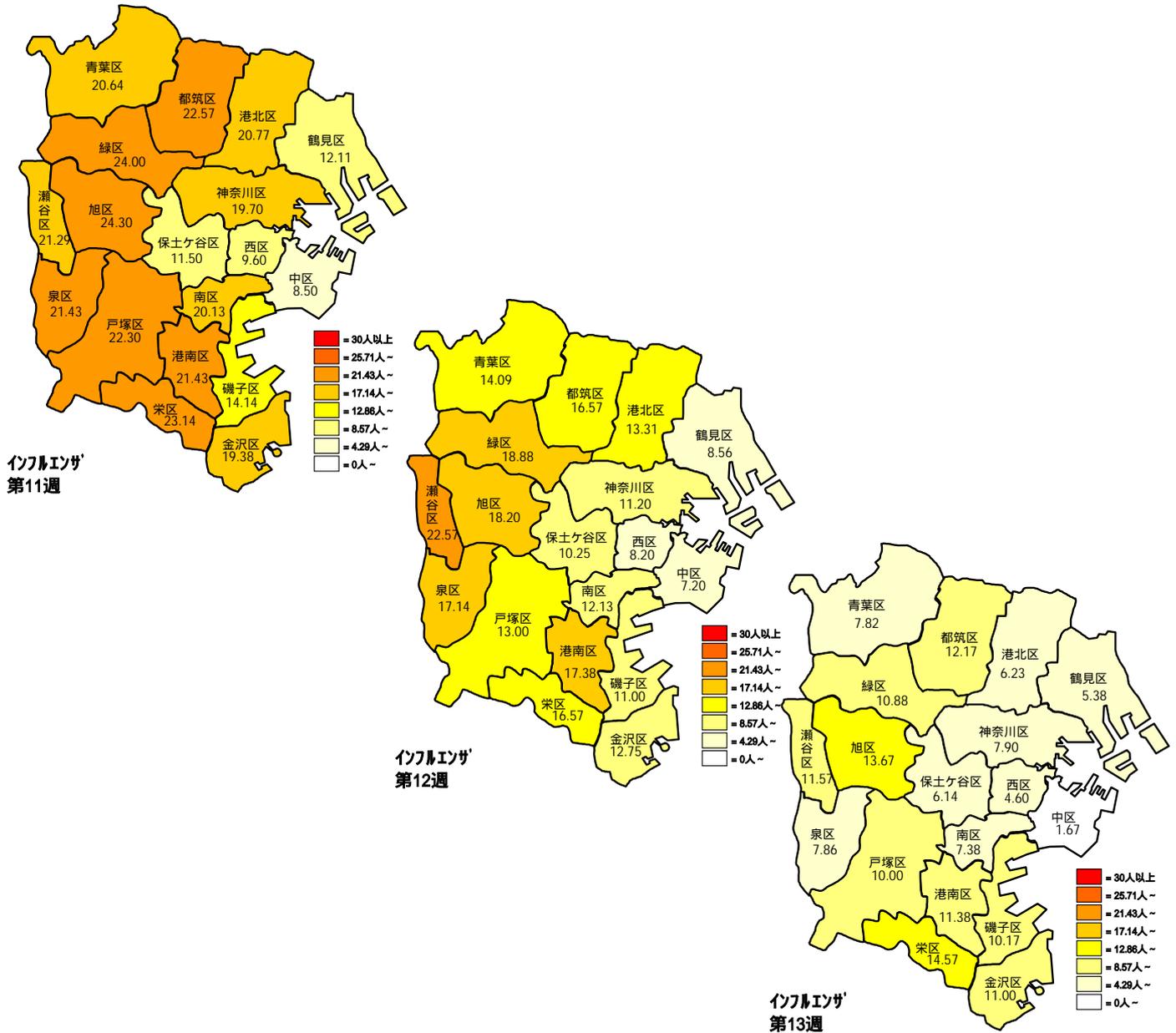
5 市内病原体検出状況: 第6週以降B型、特に山形系統が多く検出されています。なお、Victoria系統は今シーズンのワクチンに含まれていません。



6 **インフルエンザ脳症**: AH1pdm09 型によるインフルエンザ脳症が、第 4 週および第 12 週に 1 件(共に 10 歳未満)あり、引き続き注意が必要です。

7 **分離株の耐性検査**: 衛生研究所で **AH1pdm09 型の 76 株を検査したところ、耐性株(275Y)が 1 株見つかりました。**今シーズン北海道で地域流行していた株との関連については、現在検査中です。

8 区別流行マップ



今シーズンのインフルエンザ流行情報発行は今号で終了です。

【お問い合わせ先】
 横浜市健康福祉局健康安全課
 TEL 045(671)2463
 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課
 TEL 045(754)9815